



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 原田工業株式会社
コード番号 6904 URL <https://www.harada.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 康晴

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 上條 洋一

TEL 03-3765-4321

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	19,636	7.8	232		115		418	
2022年3月期第2四半期	18,220	30.4	76		42		100	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,020百万円 (29.2%) 2022年3月期第2四半期 789百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	19.23	
2022年3月期第2四半期	4.60	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	40,242	12,117	30.1	557.09
2022年3月期	35,942	11,205	31.2	515.17

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 12,117百万円 2022年3月期 11,205百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		5.00	5.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	11.7	200		100		70		3.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	21,758,000 株	2022年3月期	21,758,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	7,218 株	2022年3月期	7,218 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	21,750,782 株	2022年3月期2Q	21,750,782 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス変異株の感染急拡大やロシアによるウクライナ侵攻、内需の柱である消費が総じて落ち込んだこと等の影響により、回復が鈍化したしました。また、半導体不足をはじめとした供給制約や、輸送費高騰等が継続していることに加え、ウクライナ情勢の長期化、物価上昇圧力の継続、金融引き締めによる金融環境のタイト化等、経済の悪化要因も数多く存在しており、依然として先行きの不確実性が極めて高い状況となっております。

当社グループの属する自動車業界におきましては、世界的な半導体不足による生産調整の影響等により、昨年同期比では同水準となったものの、コロナ禍以前の自動車生産台数と比較すると大幅な減産となりました。また、材料費や輸送費等も高止まりの状況にあり、引き続き、大変厳しい事業環境となっております。

このような状況のもと、当社グループは足元における収益確保及びコスト競争力の強化を目的とし、2020年4月に策定した「第二次コスト構造改革計画」を強力に推進し、材料費の削減、徹底した経費の削減、製造コスト削減等、事業活動に係る全てのコストに関し、抜本的な構造の改革を断行し、車載アンテナビジネスの収益力の向上に取り組んでまいりました。

一方、中長期的な視点では、コネクテッドが実現する豊かなカーライフに貢献することを目指し、「新たな成長への挑戦」を基本戦略とした4か年（2019年4月～2023年3月）の中期経営計画「NEW GROWTH」に掲げる各施策の実行に注力してまいりました。「NEW GROWTH」では「車載アンテナビジネスの強化」、「新しい価値づくり、新しい顧客創造」、「更なる成長の土台となる組織基盤の強化」の3つの戦略を掲げておりますが、コスト構造改革の更なる進化による一層の収益力の向上や自動運転、また5G分野への対応力強化等、特に「車載アンテナビジネスの強化」に係る諸施策を推進してまいりました。また、「新しい価値づくり、新しい顧客創造」に係る活動として、今後更なる拡大が見込まれるIoT市場に対し、コネクテッドを促進するIoT通信端末を開発し、商用化へ向けた取り組みを推進しております。本端末はカーシェアリングの分野をはじめとした車両の運行管理等、多様な利用シーンへの貢献を実現できるものであります。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、世界の自動車生産台数がコロナ禍以前と比較すると大幅な減産となったものの、拡販活動等により196億36百万円（前年同期比7.8%増）となりました。利益面につきましては、中国上海市におけるロックダウン影響の他、材料費や輸送費高騰の影響が極めて大きく、またサプライチェーンの混乱を主要因とした不可抗力の航空機による輸送費等が発生したことから、営業損失は2億32百万円（前年同期は営業利益76百万円）、経常損失は1億15百万円（前年同期は経常利益42百万円）となりましたが、固定費の抑制や徹底した経費の削減等に取り組んだ結果、前回（2022年5月13日）発表の連結業績予想値より、営業利益は1億17百万円改善し、経常利益は2億84百万円改善いたしました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失は、中国上海市の都市封鎖に伴う新型コロナウイルス感染症による特別損失の計上や法人税等の影響により4億18百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①日本

自動車生産台数の回復等により、外部売上高は67億88百万円（前年同期比10.7%増）、セグメント間の内部売上高は9億58百万円（同3.7%増）、営業利益は30百万円（前年同期は営業損失1百万円）となりました。

②アジア

アジア市場における自動車生産台数の回復は見られたものの、中国の都市封鎖等の影響により、外部売上高は41億73百万円（前年同期比5.7%減）、セグメント間の内部売上高は86億4百万円（同3.1%減）、営業損失は1億27百万円（前年同期は営業利益2億50百万円）となりました。

③北中米

北中米市場における自動車生産台数の回復や為替の影響等により、外部売上高は58億59百万円（前年同期比17.8%増）、セグメント間の内部売上高は2億67百万円（同186.2%増）となりましたが、材料費や輸送費高騰の影響等から営業利益は78百万円（同11.6%減）となりました。

④欧州

欧州市場における自動車生産台数の減少等により、外部売上高は28億15百万円（前年同期比4.6%増）、セグメント間の内部売上高は5億87百万円（同30.2%減）、営業損失は2億29百万円（前年同期は営業損失1億81百万円）となりました。

なお、セグメントの売上については外部顧客に対する売上高とセグメント間の内部売上高を記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当社グループは財務体質の改善目標として営業利益率など収益性の改善ももちろんのことですが、当社グループの課題である経営の安全性を高めるため、有利子負債の削減、棚卸資産の圧縮、自己資本の充実等に努めてまいりました。この結果、次のとおりの財政状態となりました。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は299億54百万円（前連結会計年度末263億78百万円）となり、35億75百万円増加いたしました。これは主に「現金及び預金」が17億86百万円、「受取手形、売掛金及び契約資産」が8億8百万円、「原材料及び貯蔵品」が7億98百万円増加したことによるものであります。固定資産は102億88百万円（前連結会計年度末95億64百万円）となり、7億23百万円増加いたしました。これは主に「有形固定資産」が5億66百万円、「投資その他の資産」が1億37百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は402億42百万円（前連結会計年度末359億42百万円）となり、42億99百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は269億14百万円（前連結会計年度末231億42百万円）となり、37億71百万円増加いたしました。これは主に「短期借入金」が31億4百万円、「1年内返済予定の長期借入金」が5億円増加したことによるものであります。固定負債は12億11百万円（前連結会計年度末15億94百万円）となり、3億83百万円減少いたしました。これは主に「退職給付に係る負債」が53百万円増加し、「長期借入金」が5億円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は281億25百万円（前連結会計年度末247億37百万円）となり、33億87百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は121億17百万円（前連結会計年度末112億5百万円）となり、9億11百万円増加いたしました。これは主に「為替換算調整勘定」が14億34百万円増加し、「利益剰余金」が5億27百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して17億85百万円増加し、55億12百万円（前連結会計年度末比47.9%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、「税金等調整前四半期純損失」2億5百万円、「売上債権の増加額」2億49百万円、「仕入債務の減少額」2億51百万円、「法人税等の支払額」1億83百万円等の減少要因がありましたが、「減価償却費」5億92百万円、「棚卸資産の減少額」8億71百万円等の増加要因により、70百万円の収入（前年同期は11億97百万円の支出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、「有形固定資産の取得による支出」3億35百万円等の減少要因により、3億77百万円の支出（前年同期は3億30百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、「短期借入れによる収入」384億62百万円等の増加要因がありましたが、「短期借入金の返済による支出」366億7百万円等の減少要因により、16億74百万円の収入（前年同期は19億48百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,747,983	5,534,805
受取手形、売掛金及び契約資産	6,701,453	7,510,341
商品及び製品	7,662,972	7,926,147
仕掛品	852,215	711,916
原材料及び貯蔵品	6,461,356	7,260,054
その他	999,855	1,066,284
貸倒引当金	△47,577	△55,466
流動資産合計	26,378,260	29,954,082
固定資産		
有形固定資産	6,329,780	6,895,873
無形固定資産	165,825	186,053
投資その他の資産		
その他	3,078,172	3,216,139
貸倒引当金	△9,166	△9,925
投資その他の資産合計	3,069,007	3,206,214
固定資産合計	9,564,613	10,288,141
資産合計	35,942,873	40,242,223
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,825,599	2,882,801
電子記録債務	740,110	782,499
短期借入金	16,088,562	19,193,502
1年内返済予定の長期借入金	—	500,000
未払法人税等	461,494	668,945
賞与引当金	241,484	244,652
その他	2,785,522	2,641,737
流動負債合計	23,142,772	26,914,138
固定負債		
長期借入金	500,000	—
退職給付に係る負債	184,261	238,250
その他	910,410	972,755
固定負債合計	1,594,672	1,211,005
負債合計	24,737,444	28,125,143
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,019,181	2,019,181
資本剰余金	1,859,981	1,859,981
利益剰余金	7,594,691	7,067,613
自己株式	△2,446	△2,446
株主資本合計	11,471,407	10,944,330
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,501	24,803
為替換算調整勘定	△260,655	1,174,202
退職給付に係る調整累計額	△35,825	△26,256
その他の包括利益累計額合計	△265,979	1,172,749
純資産合計	11,205,428	12,117,080
負債純資産合計	35,942,873	40,242,223

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	18,220,329	19,636,161
売上原価	14,660,332	16,216,045
売上総利益	3,559,997	3,420,115
販売費及び一般管理費	3,483,173	3,652,525
営業利益又は営業損失(△)	76,823	△232,409
営業外収益		
為替差益	—	114,800
その他	120,724	107,434
営業外収益合計	120,724	222,234
営業外費用		
支払利息	89,706	103,525
為替差損	58,675	—
その他	6,688	1,457
営業外費用合計	155,070	104,983
経常利益又は経常損失(△)	42,477	△115,157
特別利益		
固定資産売却益	2,525	2,269
特別利益合計	2,525	2,269
特別損失		
新型コロナウイルス感染症による損失	—	※ 86,640
その他	1,966	5,846
特別損失合計	1,966	92,487
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	43,036	△205,375
法人税、住民税及び事業税	226,421	251,177
法人税等調整額	△83,248	△38,228
法人税等合計	143,172	212,948
四半期純損失(△)	△100,136	△418,323
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△100,136	△418,323

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△100,136	△418,323
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,122	△5,697
為替換算調整勘定	885,411	1,434,857
退職給付に係る調整額	2,452	9,569
その他の包括利益合計	889,986	1,438,729
四半期包括利益	789,850	1,020,405
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	789,850	1,020,405
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	43,036	△205,375
減価償却費	560,047	592,232
支払利息	89,706	103,525
売上債権の増減額(△は増加)	1,896,549	△249,611
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,718,619	871,143
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,949,206	△251,651
為替差損益(△は益)	△20,528	△403,395
新型コロナウイルス感染症による損失	—	86,640
その他	52,948	△157,951
小計	△1,046,065	385,556
利息の支払額	△97,368	△90,863
法人税等の支払額	△100,742	△183,798
新型コロナウイルス感染症による損失の支払額	—	△86,640
その他	46,912	45,875
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,197,264	70,130
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△370,483	△335,029
その他	39,688	△42,525
投資活動によるキャッシュ・フロー	△330,795	△377,554
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	28,509,394	38,462,746
短期借入金の返済による支出	△26,369,703	△36,607,977
リース債務の返済による支出	△83,286	△82,928
配当金の支払額	△108,361	△96,938
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,948,042	1,674,902
現金及び現金同等物に係る換算差額	171,542	417,924
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	591,525	1,785,402
現金及び現金同等物の期首残高	4,641,301	3,726,605
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,232,827	5,512,008

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（四半期連結損益計算書関係）

※ 新型コロナウイルス感染症による損失

当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

新型コロナウイルス感染拡大防止のための中国政府等による移動制限措置に伴い、当社の連結子会社 上海原田新汽車天線有限公司において操業に制限が生じた期間の人件費、宿泊関連費用等であります。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	6,131,621	4,423,888	4,974,697	2,690,122	18,220,329	—	18,220,329
セグメント間の内部売上高又は振替高	923,619	8,878,640	93,419	842,393	10,738,073	△10,738,073	—
計	7,055,240	13,302,529	5,068,117	3,532,516	28,958,403	△10,738,073	18,220,329
セグメント利益又は損失(△)	△1,083	250,991	89,216	△181,347	157,777	△80,954	76,823

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△80,954千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	6,788,304	4,173,182	5,859,607	2,815,066	19,636,161	—	19,636,161
セグメント間の内部売上高又は振替高	958,074	8,604,505	267,394	587,804	10,417,779	△10,417,779	—
計	7,746,379	12,777,687	6,127,002	3,402,870	30,053,940	△10,417,779	19,636,161
セグメント利益又は損失(△)	30,674	△127,165	78,894	△229,666	△247,262	14,853	△232,409

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額14,853千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。